

ProMED-mail情報 2014年 8月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
31日	デング熱 フランス	2014年8月21日PACA地域保険局は、ヴァール県で発生したデング熱国内感染の第一例を報告。国内ヒトスジシマカからの感染が確認され蚊駆除とデング・チクングニア感染対策コントロールプランレベル2が発動。
27日	カンピロバクター症 アメリカ合衆国	ユタ州で2014年5月9日以後発生したカンピロバクター食中毒45例すべてがRopelato搾乳場で搾られた未殺菌牛乳またはクリームを飲んでいた。
26日	豚レンサ球菌 中国（香港）	2014年8月19日、57歳の男性が発熱、寒気、下痢などを訴え、20日に入院。多臓器不全を伴う感染性ショックにより死亡。血液からStreptococcus suisが分離培養。渡航歴はなく家族には同症なし。感染ブタの血液、組織との接触が原因と考えられる。
24日	マラリア インド	2014年1月から6月まででChhattisgarh州は38781事例を報告した。国内で2位の症例数であり、13%を占める。同期間に国内全体では319000症例の報告があり、死亡例なし。2010年以後死亡例は著減。
20日	ビブリオ感染症 韓国	仁川で2人のビブリオ・バルニフィカス感染症患者が敗血症で死亡。2014年国内全体で計10例。そのほとんどは南前羅道で起こっている。糖尿病や肝疾患のある場合に、より危険性が大きく、海産物の摂食、皮膚創傷への海水暴露に注意。
17日	ハンタウイルス パナマ	23歳女性と70歳の男性がハンタウイルス感染による発熱で入院。この2例を合わせて2014年のロスサントス州での感染症例数は45例の流行。
12日	日本脳炎 マレーシア	ペナン州で3例、国内全体では17例報告。感染源は共通せず。ブタ以外の野鳥、馬、水牛および鶏なども日本脳炎ウイルスの宿主になり得る。フォグ散布駆除が重要。
11日	ウエストナイル熱 イスラエル	2014年8月10日イスラエル厚生省は7月に3例のウエストナイル熱の症例があったことを発表。今年度は計18例でいずれも軽症。2013年は71例で4例死亡。2012年は89例で2例死亡。
10日	E型肝炎 エチオピア	エチオピアにおける南スーダンの3つの難民キャンプに、2014年4月から367症例。死亡例の報告は13例。国連は安全な飲料水の供給と石鹸の配布、便所の建築などを促進している。
8日	狂犬病 アメリカ合衆国	2014年5月からジャクソン郡で確認された5症例について米国農務省が発表。アライグマが3症例、犬とキツネが各1症例。すべて10マイル半径内で発生。
7日	クリミア・コンゴ出血熱 カザフスタン	2014年7月15日にダニに咬まれた14歳男性が7月21日に病院に来院し、クリミア・コンゴ出血熱と診断。この地域で、今年に入って疑い症例は24例、そのうち4例目の確定診断例。ここ2年間に死亡例はなし。
5日	インフルエンザ ミャンマー	ラングーンにて再発性のインフルエンザ感染が増加。再発時の主な症状は強い咽頭痛。ウイルス検査は未実施にてインフルエンザの診断不明。
3日	腸管出血性大腸菌 カナダ	アルバータ州において2014年8月1日までに24例の大腸菌（O-157）感染例を確認。そのうち21人が発症前に生のもやしを食べていた。
1日	ボツリヌス症 アメリカ合衆国	サクラメントでボツリヌス中毒によって数十羽の鳥が死亡。水鳥のボツリヌス感染は北米では毎年の自然現象であるが、今年度は干ばつにより事態が悪化。